

自然がつくる深草の歴史と文化（レジュメ）

聖母女学院短期大学 久米 直明

1. 深草の歴史

縄文時代：谷口遺跡

弥生時代：西浦遺跡（水田耕作）

古墳時代：稲荷山古墳群・番神山古墳

飛鳥時代：深草屯倉の設定（大和朝廷の支配下・経済的基盤）

秦氏・稲荷神社

平安時代：平安貴族の別荘・大寺院・陵墓

嘉祥寺・貞観寺・極楽寺・法性寺

桓武天皇柏原陵・仁明天皇深草陵・しやうせん塚（基経墓？）

稲荷詣・大和街道（宇治・奈良への主要道）

鳥羽離宮

鎌倉時代：鎌倉新仏教

曹洞宗《興聖寺》・日蓮宗《宝塔寺》・浄土宗《真宗院》・臨済宗《東福寺》

伏見街道（伏見殿への道）

後深草天皇以下持明院統の諸天皇

南北朝時代：深草十二帝陵・・・持明院統（北朝）

竹之下道

室町時代：応仁・文明の乱

秀吉時代：伏見城築城

伏見街道の整備

鳥羽湊の廃止と鴨川付け替へ

深草瓦

江戸時代：商品作物の栽培

大根・筍・茶

稲荷参詣・参勤交代・土産物・遊女里

伏見人形《鵜幸右衛門？》・深草団扇《元政上人》

鳥羽伏見の戦

明治時代以降：舟運《鴨川運河（琵琶湖疏水）》 ⇒ 鉄道輸送《奈良線・京阪電鉄》

陸軍第16師団の設置

戦後：陸軍の消滅

公共施設《深草支所・国立病院・警察学校・青少年科学センター》

教育機関《龍谷大・京都教育大・聖母・立命館中高・教育大付属》

環境汚染《産業廃棄物処理施設・自動車交通》

2. 深草の自然

① 地形

山（固い岩石層・丹波層）：稲荷山・大岩山

岡（海成粘土層・大阪層群）：深草丘陵

桃山断層

野（礫層・扇状地）：深草野

原（砂層・沖積平野）：鴨川氾濫原

② 植生

山 尾根：岩盤（貧栄養・水分条件悪） → アカマツ

斜面：腐葉土（富栄養・水分条件良） → 広葉樹（照葉樹林）

岡：強酸性粘土 → タケ

桃山断層：湧水 → 林

野：地下水位が低い → カヤ（乾性草原）

原：たびたび氾濫・富栄養の土砂が堆積 → アシ・セリ・オモダカ（湿性草原）

③ 動物

山・・・オオカミ・シカ・イノシシ

岡・・・タヌキ・サル・ウグイス

野・・・ウサギ・ネズミ・キツネ・ウズラ

原・・・モグラ・ヨシキリ・サギ・セキレイ

3. 自然と文化

アカマツ（山）⇒ 燃料 ⇒ 焼き物（伏見人形・深草瓦）

粘土（岡） ⇒ 陶芸素材

タケ（岡） ⇒ 筍

工芸素材 ⇒ 深草団扇

急峻な山 ⇒ 神体化

氾濫原 ⇒ 水田耕作 ⇒ 深草屯倉 ⇒ 稲荷神社

4. 自然と歴史

深草野：草原 ⇒ 藤原氏による別荘造営 ⇒ 大寺院

狩猟場 ⇒ 天皇行幸地 ⇒ 陵墓

深草丘陵：酸性土壌 ⇒ 竹林 ⇒ 開拓されずに残る ⇒ 第16師団駐屯地

桃山断層：湧水 ⇒ 森林形成 ⇒ 鎮守の森 ⇒ 神社（稲荷・藤森・御香宮）

5. 現在の深草

住宅地・教育機関・医療福祉施設・社寺・農地

若者 vs 高齢者：コンビニ・スーパー vs 商店街 携帯電話 vs 近所づきあひ

6. 深草の将来

深草の特徴をどう生かすか？

図1. 深草周辺地図

(点線は旧鴨川河道と推定される位置)

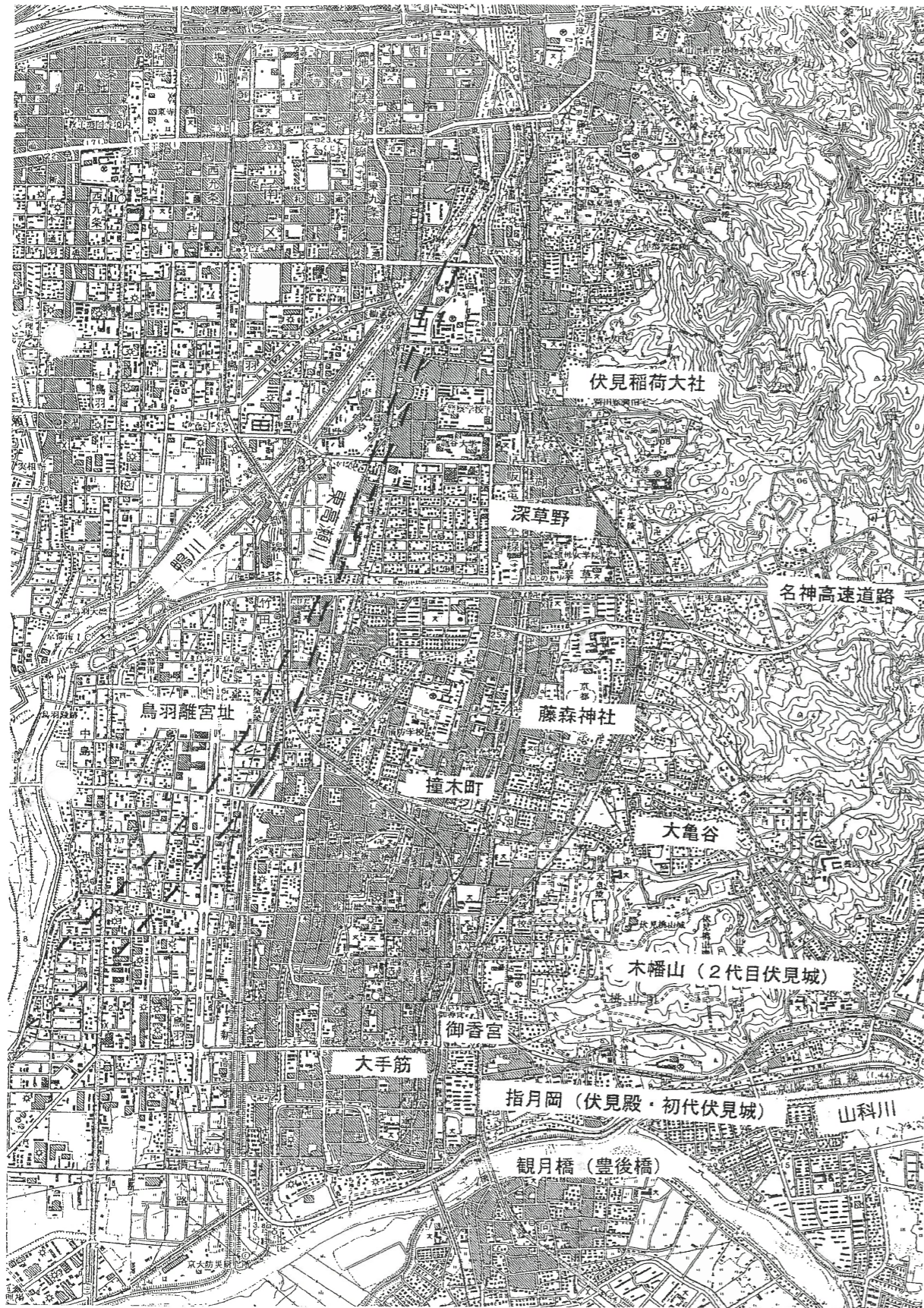


図3. 深草を構成する4つの地形要素

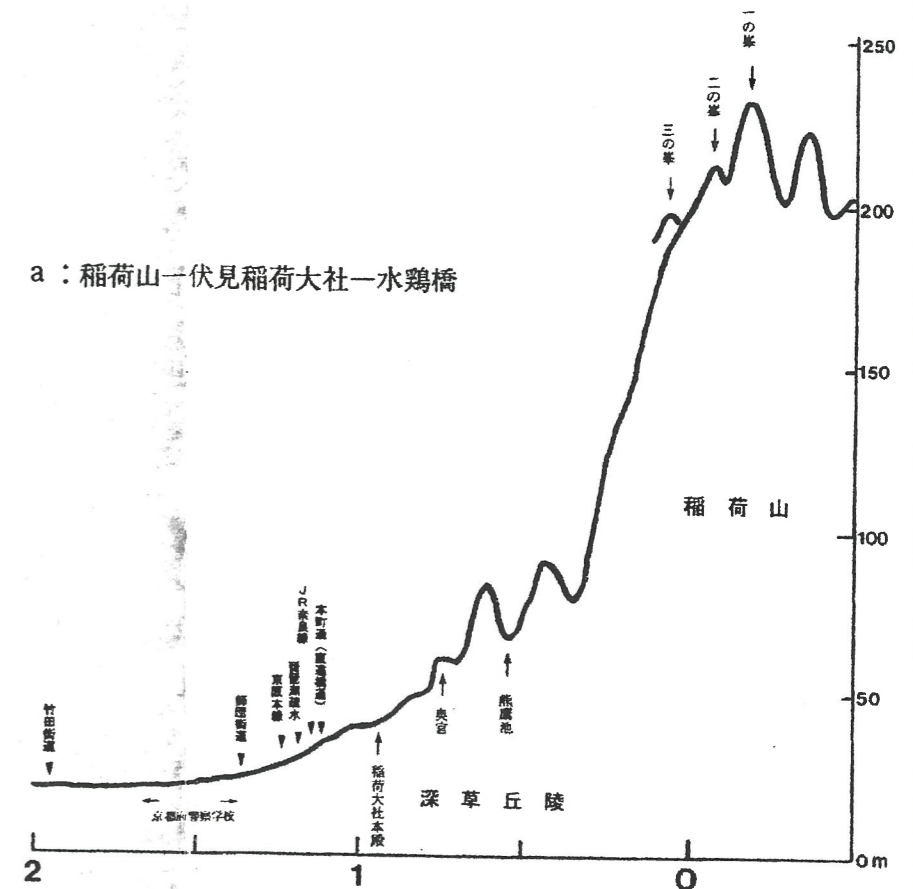
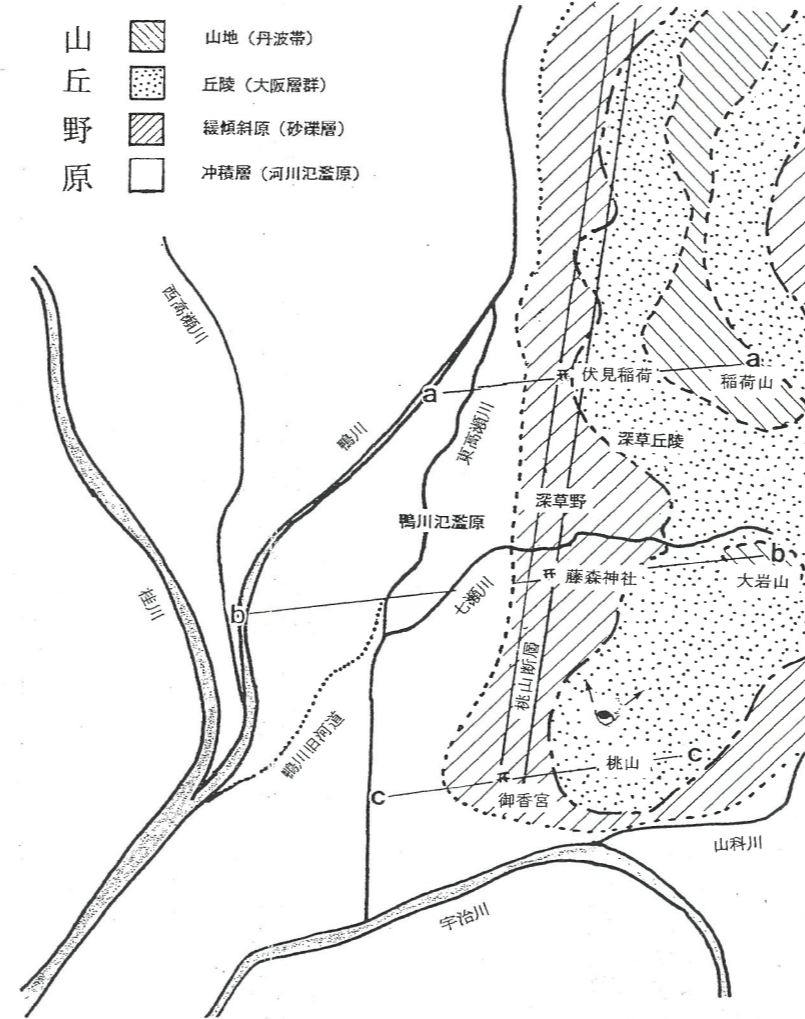
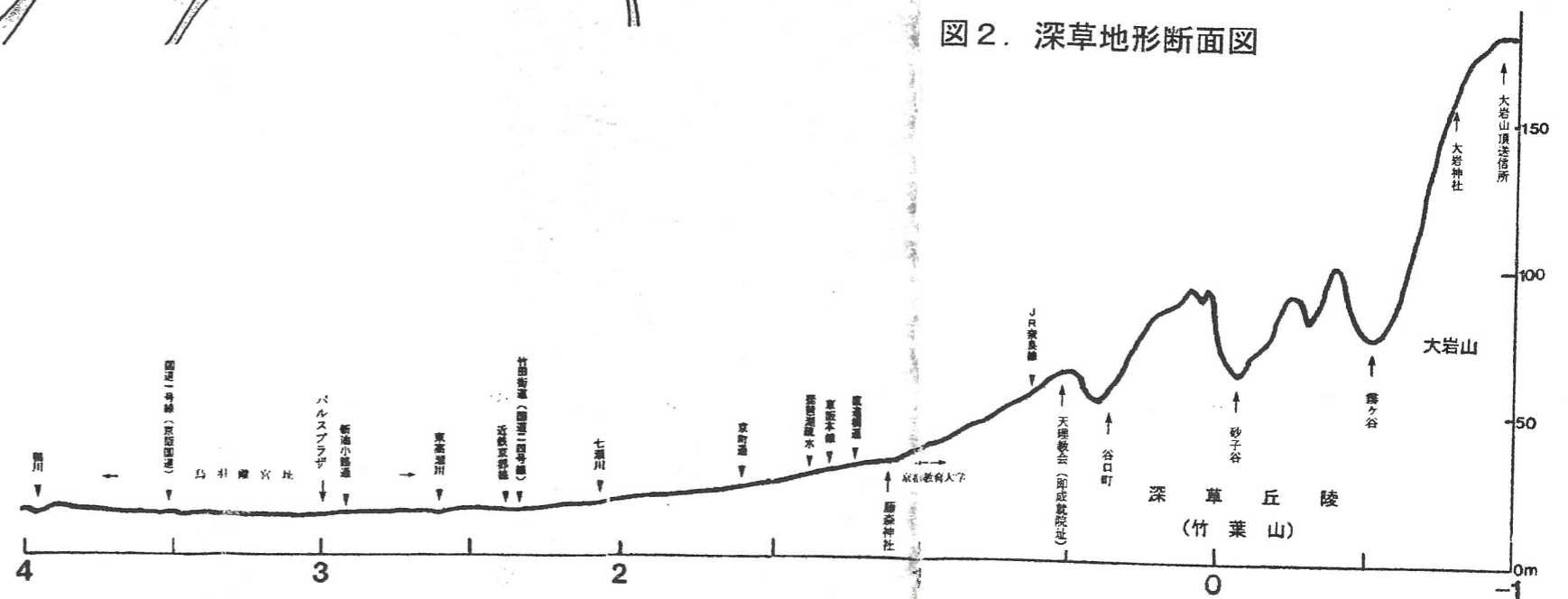


図2. 深草地形断面図



b: 大岩山—藤森神社—パルスプラザ—京川橋